

## 令和3年人口動態統計（概数）に係る知事コメント

出生数は前年より164人減少し、合計特殊出生率も0.02ポイント減少しております。

また、婚姻数は前年より68組減少しましたが、婚姻率については、全国平均が減少したのに対し、本県は前年と同率に留まっております。

本県では、若年層、特に20代女性の県外流出により、子どもを産み育てる世代の人口が減少していることや、結婚や出産に対する意識の変化などもあり、短期間で出生数、婚姻数の減少に歯止めをかけることは難しい状況にあります。

このため、若年女性の県内定着・回帰の促進に一層力を入れて取り組むとともに、若い世代の出会い・結婚や子育てに対する前向きな意識の醸成を図るほか、引き続き、出会い・結婚から妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援による少子化対策を進めてまいります。

高齢化や生活習慣に起因する、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などによる死亡率は依然として全国に比べ高くなっております。

一方で、令和元年の本県の健康寿命（令和3年12月公表）が男女ともに延伸するなど明るい兆しも見え始めてきたところであり、栄養・食生活の改善、運動習慣の定着、たばこ対策、健（検）診受診率の向上、糖尿病の重症化予防などの取り組みを強化することにより、生活習慣病による死亡率の低減と健康寿命の延伸を図ってまいります。

自殺死亡者数は、昭和22年以降、最少であった令和2年よりも5人増加しております。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、経済的な不安や孤立などにより、自殺に追い込まれることがないように、引き続き、年代や原因等に応じた対策や、「民・学・官・報」の連携した支援の充実により、「誰も自殺に追い込まれることのない秋田県」をつくってまいります。

令和4年6月3日

秋田県知事 佐竹敬久